

人は楽しむために生まれてきた



園児・保護者・保育士が一体となった河内音頭グランプリです。寝ている子を抱っこ、肩にかかっている保護者も一生懸命です。



こどもの部伝統部門

たまごビル 院長 石垣 邦彦



〒581-0061 大阪府八尾市春日町1-4-4
電話072(991)3398
FAX072(991)4498
ホームページアドレス
http://www.tamagob.com/

日本国民への提言

53

日本の国民一人ひとりが、自らの「からだ」の「しくみ」を生かすことで、日本を再生する

たまご理論で病気のしくみを考える

今日は、平成28年11月5日号の本紙で紹介したたまご理論の経緯を再度端的にお話しし、次へのステップを目指してゆきたいと思えます。

「たまご理論」にも「上腹部のやわらかさ」を世界人類に普及すること、高年齢社会における人手不足を補うこと、

「たまご理論」にも「上腹部のやわらかさ」を世界人類に普及すること、高年齢社会における人手不足を補うこと、

「たまご理論」にも「上腹部のやわらかさ」を世界人類に普及すること、高年齢社会における人手不足を補うこと、

「たまご理論」にも「上腹部のやわらかさ」を世界人類に普及すること、高年齢社会における人手不足を補うこと、

八尾河内音頭まつりでグランプリ受賞

なにかをなすものかと思案してました。そんな折、科学雑誌「ニュートン」平成17年11月号で、聖路加国際病院の福井次院長が記者の質問に述べられていたことが大きなヒントになったのです。

この福井院長の確かな分析によって、私の本質的な疑問が解明されました。それからは、私にとって取り組むべき方向が明確になりました。これだ、というものが直感的に感得できたのです。

「上腹部のやわらかさ」と「呼吸・循環・人体力学・自律神経・内臓全般の動き」との関係に深く臨床で観察してゆくと、

「上腹部のやわらかさ」と「呼吸・循環・人体力学・自律神経・内臓全般の動き」との関係に深く臨床で観察してゆくと、

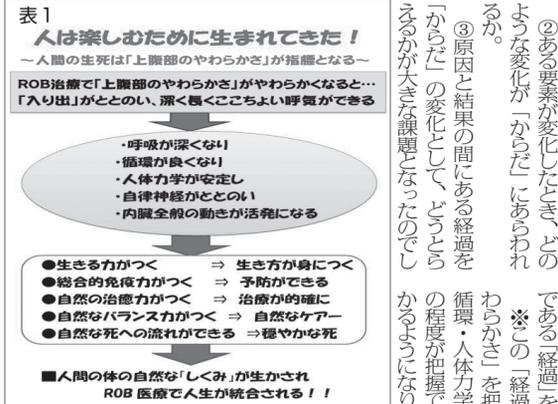
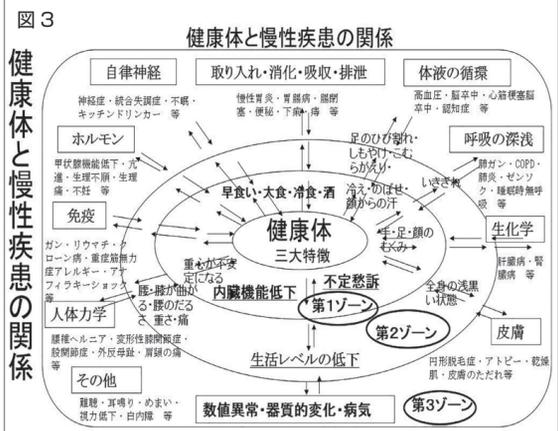
たまご保育園

たまご保育園は、9月8日に開催された八尾河内音頭祭りグランプリに参加し、こどもの部で優勝をなすことができました。そこに至るまでの活動を通して園児・保護者、また保育士の成長は目を見張るものがあります。たまご保育園の目的がひとつ達成されてきたものと、うれしい限りです。再度、「たまご保育園園児の心得」を紹介させていただきます。

●たまご保育園園児の心得●

- ①正しい生活習慣を身につけて元気な子どもになります。
 - ②人に、物に、全半の環境に感謝できる子どもになります。
 - ③自らの考えを持ち、自らを表現できる子どもになります。
- たまご保育園の園児である私たちは自らの「からだ」と「こころ」をこの家庭・地域・日本・地球環境に貢献してゆきます。この大きな目標をもって日々の生活に精進してゆきます。

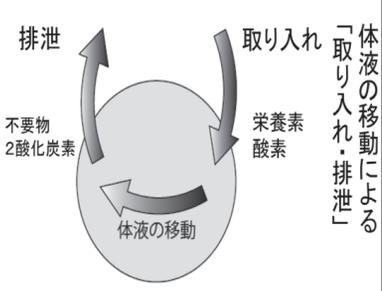
大阪万博に基本理念を提案する



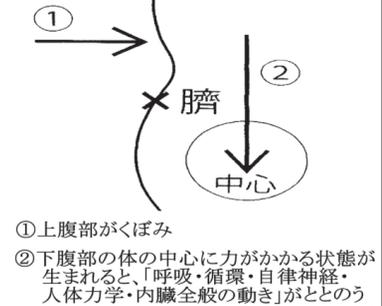
「からだ」の「しくみ」がスムーズに「はたらく」状態に「上腹部のやわらかさ」がやわらかい状態を維持することによって「呼吸・循環・自律神経・人体力学・内臓全般の動き」がととのい、生きる力がつく、生き方が身につく、総合的免疫力が上がる、予防ができる、自然の治癒力が上がる、治療が的確になる、自然なバランス力が上がる、自然なケア、自然な死への流れができる、穏やかな死、人間の体の自然な「しくみ」が生かされ、ROB治療で人生が統合される！！

「からだ」の「しくみ」がスムーズに「はたらく」状態に「上腹部のやわらかさ」がやわらかい状態を維持することによって「呼吸・循環・自律神経・人体力学・内臓全般の動き」がととのい、生きる力がつく、生き方が身につく、総合的免疫力が上がる、予防ができる、自然の治癒力が上がる、治療が的確になる、自然なバランス力が上がる、自然なケア、自然な死への流れができる、穏やかな死、人間の体の自然な「しくみ」が生かされ、ROB治療で人生が統合される！！

「からだ」の「しくみ」の基本



上腹部・下腹部と呼吸・循環・自律神経・人体力学・内臓全般との関係



「上腹部のやわらかさ」が生まれる生活習慣を小さくことから身につけることが保育の基本となります。三つ子の魂百まで、一氏より育ち一小さいころからの正しい生活習慣がその人の一生を左右することになります。その意味で正しい生活習慣を小さいころから身につけることが、たまご保育園の大事な活動目的の一つです。たまご保育園の大きな柱です。次回、「たまご保育園の目的と意義」について詳しくお話しさせていただきます。